島頭であつたが昭和十一年度一百六十一萬四合計二千四百

中全會議宣言

起草委員會から發表

・五名の起京委一個重新罷を罷らした後二十一日こ

段館において起草、これを附端し

やはり親分

やるだけのことはやつた

批談内容を動取之を犯論として二十七段七十萬國に重んとする意大揆第をおる意教器師は先退中に四回開館、その国館記録を開いて批消車の国館のものが後期書館は先近、東談教は歌説を説明で説証中であるが後期書館は立て、東談教は歌説を説明で説証中で、「東京電路」今報館も第一週を終りいよく「第二週に入ったが深識院におります。

- 十二日の本館源における大河内単称子(破党)が定析一般施設方針を質配本館職と釈確院東京總院を中心として設守されるが、改成院においては反交付金融鑑などについて総派を展開した、かくて今遠は後の総職は史底 中心に各郷の職士が正部進業局重、國民資資不均衡、際付職郷の報歴、地

隊算成立は確實
こなる

週に入る

【ベルリン二十一日同盟】 ドイツ

13

たされたのでご

の南總督

んて見る妙なものであるかし人間の心理な

派服 をとは ず鈴木郷 裁をなつ

の東京都目に直づて検討のメスを加へることになつてゐる、一院的情報よの東京都目に直づて検討のメスを加へることになつてゐる、一院的情報よの東京都目に違う名音所では、加藤県山郎(政友)の諸氏から夏問道告 し父衆藤院は異発部門に於ては牧野は三氏(戯な)の外平川松太郎(民談

定のためこれだけの都費は必要一時半時期の度定であるは四井の情勢列閥の軍備東亜安った後、午後零時七分保の工作の主義の主義をは、一般の主義を持ち、一般の主義を表した。

の野官に取聞まれ接野も出来す で期田削燥相とばつたり、新蔵

光州神社に参拝の後、正午会施 数の官民生徒等に迎へられて先

内では豫算返上

院外では民衆大會

、ある、上した山田総信局長は十一日解臣 十七日から東京で開いて ・ は漢つてゐますから實際 今春から始める

世繪

一作

感

うだつたが、指標の人出と護備 中へ連れて励つて来た棄村は、 手を失つたやうな不便を感じてあった。間もなく歌 日中はめつきり春めいて来た昨一たが、そのたびに

……さら思ふとお彫の心には次第に這人つて来まいものでもない。

から行燈の支度 必が遊くなつて しまうに影響る

人の来る揺配や を捉へては忍びてきた。

歴失望も焦増も いれて目的を果

を着物の間に目ざす手紙らしい。 お別が買回の掘出しを開けて著 た。 不意に 腹の くやらな 呼び



ボンクー

の一粒を

の嗄がれ が て る

學。痰。咽。嗖

喉の痛み

が

τ る



作用は一度刺放すると 三十分しか弱かない・水東の様に早く咆哮から食 遊を掘り過ぎて最も重要な 想那と縁間に通り過ぎるものは、咽喉帶をしてはも、水が謝弱です。

決部の色が現れてゐた。
大郎を襲つたのだつた。 部間の前でもう一度即後 お前は、ぼつと身を養して不なる身を入れた、お祖の醜には潔女な」して行槍の支鹿に還えて下来てゐ身を入れた、お祖の醜には潔女な」して行槍の支鹿に還えて下来てゐ

を切め各所の水道工事既は土木事 「十三百萬面に達してゐる」 「、三中全大資は對外的には領土 に膨脹し合計に於て二十八百萬 は第二部の暫進學技術元部被等に 言起草の理由を述べ對外数確に言画で、十年度に比し背に四百十 よつて制乎より四百八十萬面以上 及したる後順内統一、経済組織の激増を示したのであるが、の膨脹を来し結局に於て過源は三 充實を煽濶した長文のものである。 「、三中全大資は對外數確に言言と言語、不可を服潤した長文のものである。」 「一般は二子萬回に一部は四百 業等並代都市としての馳騰緩衝毙」 れを輕表した、その内容はまつ宜 は一般は二子萬回に一部は四百 業等並代都市としての馳騰緩衝毙。 れを輕表した、その内容はまつ宜 に一般は二子萬回に一部は四百 業等並代都市としての馳騰緩衝毙。 れを輕表した、その内容はまつ宜

天地支護局の諸事節約令、そ 地域支護

近代都市體系の整備へ進む

たされたので

* た突然の眉来事を取開んで、そのつてある心には、この疑つて薄いれたい女中達の、事あれかしと宿 蹇しいこ とは一通りでは なかつ でなされたので が近様のお部屋

明久能水 能水 る絵

音候咽

原一個子程,其中是計

| 東京・日本語・宮町 | 東品部 | 東品部 | | 明になります。 明になり、三型は明 がになり、三型は明 ボンクーバーは

来ンクーバーはせき止、 性疑期の最も必要な場場と 食道の上部に分布する苦咽 食道の上部に分布する苦咽 を動態の末句を到して反 財的に氣管支線の分泌を組 する場合と

少くして検事局を縮減しては如一 じない なしと考へてゐる、響ろ檢事を一法相 就任前のことで詳し ムの衆院豫算總會

説明を求め場内次官之に極々答

路軍の軍備は相當元實せねばな

のは極事の人員不足によるもの 対のは極事の人員不足によるもの 対のは極事の人員不足にある。

木村正義氏(成名)

| 牧野氏 | 東京和事教判所上席 | めてあるが地方繁繁官に對して、社の景味和では古野山では古野山では古野山では古野山では一般都石郷岡氏が軍大雄明を救し | 本のが常島と相談して渡りなき | 塩野・法・村・司法のことに関していまれたが世地では右部。日本の本の本地方繁繁官に對して、社の崇談者の言語を示しておりますることを知ったが世地では右部。日本の本の本地方繁繁官に對して、社の崇談者の言語を示しております。

結城藏相 第一の際及

よりの質問に関して
管原者は財政方針・管原者は財政方針・管原者は財政方針・

やうやく各相が答辯

自由を帰還することのない様成 司法常局は極事が濫りに き組々述べる とあつさり逃げる、牧野比奥に神

してゐる。即も像景觀會において一の促進について複說實文は調理觀

林首相 與刊の頁面解放與

窓が本質離に上壁された際におい。 南島を初め各僧派に願きかけそので地方交附金の増額を要求し養算 に院内においても今後引駆き総政

おつてたかっ…… | げた。 | げた。 | が見と述ってあるにはに、 | げた。 | が成と述ってあるにはに、 | げた。 | がた。 |

泥解でこざいますよ。

をせずにはあら

往来の答案を京城、淵南原線に二一號は一貫六千噸の記義に竜にあか、するととなつてゐと、周鵬光脈のを中心に大田を分岐點として内地」の一つ、世界観光船フランコニヤ。さんを叙せ四月十八日に月に入街、

政め、京城 空の観光朝鮮を訪れる観報観光版 せて世界を遊ぶする三百名のお客

四月來るドルのお客

と、江屋のボブラ菲木が透びの恵置にねれて。水温む群々を縁歇してゐますれるののどけさをみせてゐます、上り下りの砂利勲、新點の隨音ものんひり 護母の柔らかい陽差しに、氷のとけてしまつた徳江はもらすつかり。春の疏 漢江すつかり春の氣配 期に相當の派離を検討され、更に

脱をみたりして底を洪水 具見化する模様である、既は

目されてゐる

氏の川田から輸送の帰帳を

金ですむなら

とめはつけ

がはしたものと海上 大の際な

と他の翻連 背局と臨職の上腰魔連絡の競位を のに施設の光質に飛出す根標で注源上 で近く解真者、川崎宮船、融陽市 機(解)周か直登し優飛艇の配置そ海上 で近く解真者、川崎宮船、融陽市 機(解)周向が直登し 優飛艇の配置そ

で年の官廳事業に

大品質処可能の目はもつい

大分にさせる計画を進めてあたが一今後の情勢

麗福航路を計畫す

京間の貸切りを申込み解収を絡か

お答さんだけあつて廿二日鑑道局 西百に立に糸目をつけみ用の図の うることになつた、この先駆隊は

びかりゃの一等回望は一幅を

駒川船に委託記着中の下騰騰水間 これを『和するため略画品では川の関心される映画となったので、

世高を何多麗が田

さらに二道かけ

一海の客運び

川越っひかりゃで新京へ陸路直行 せた後、一足頭ひで同月廿八日签

発に十五名は四地の観光を許ま

満軍激戦を交の

今の隔電連絡船を變更して

刚巡査が残って態戦中です、 たなら帰居し國境の新選組にこれから三千米です」と から三百米です」

養砲した、そこで藤川、加藤 から1至の後、野岸の寬同縣拉子溝 から1至の後、野岸の寬同縣拉子溝 から1至の後、野岸の寬同縣拉子溝 がら1至の後、野岸の寬同縣拉子溝 1-1-1735人で超等も昨日 たりがは、映は一大男性別である大学に大学なよのなない。 和徳の姓在所 たは浮珠は中年十月にも睥睨が現って来たと数へられたが、そ 輝いなると感心してある次第だ では浮珠は中十月にも睥睨が現ったと数へられたが、 映は 一大男権別代戦を見て関域教育は

交戰三十分、奧地~擊退 碧泣署特別整備隊は隊長の權應醫部補以下 國境警察官は强 緊張した姿に感激三橋局長語る 問題れて側の野様花を衝いて午後七時碧蓮に着いた の歸つて來るのを待つた、これがたの意定より一時身邊を氣遭ひ寒下卅七度の氷の上で醫備隊中邊を氣遭ひ寒下卅七度の氷の上で醫備隊自成の高級を開発した、局長は部下醫官の地に避走した。質解は同我の身邊を発通って 活調いをせて元智 は部下警官の男敢な動作がハッキリ映つた、無数を作きこうに非紀な駐庫が原頭した、局長の眼鏡に 語に自動的に、梁つて忠誠に行く、先起の新選組と協力水の上に散 銃撃はまだ上まの山田署長は部下十名と喧機跳銃と一 一般勝は暑偏院の 建烈な 活躍に耐へす 交龍三十分で奥

材木工場に⇒戦團

國境に活動温度限を出張せしめ國一のは四月頃である 本府では一月以来等下三十餘度の 映畵製作

たが全部で七卷に及り投尺での國 たが二十二月間低し場際に着手し 境整備々として一般に公開される 境無所狀況をライルムに収めてる

殿治型から越火し事務所及び降歩

分観火したがこの火事で周帯所内 の建物二棟を全端して同四時三十 あったほぼな機械気を焼きその

事に至らなかつたが、国路器で別が、幸び附近の人々が課題して大 九六金原器氏方昭光の掲載から総サー日午後二時半ごろ京城内資町 のと動り各家庭へ出感をうながし 出し思慮の級中親つて引がしたも長男様既邀へて登むって引がしたも お母さん注意のこと

金井鑛山火事 リ決定した

。 時間部は廿一日午後二時から形態 。 時間部は廿一日午後二時から形態 し 門路帯で委員打合階を開き分態長

郡君陽面金井路山館山事が所内の廿一日午後三時廿分ころ殴北春化

中は時雨れていとし面影

長 崎 情 歌

音窈

愈々廿八日まで日延さ 出世したさに

歸月 らぬ職 船野

干伊雷 代久男 丸男丸

無髪に泣く | 東あき十

松豆 平_千

兄城大祭町祭回登(ず)は、役所の 本を盗む

全部衙門軍法理議法総において財一官の財団権働の規を派してゐる自二百年財光確定より部一師解財」ころを本町警銭に機構されたが 早く更成になって要字に安心で 臨時展はとして動物中であった。

一夜の思ひ出流 漠の 夢

果でなき旋空伊藤久男春雨ながし、千代丸 乙女双六二年のかり 夕日のアリナレ 奈賀古太郎 野野

希望の旅路関境越えて

双豆 豆松

○第四分四投小川樹平、副分四長 ○第四分四投小川樹平、副分四長 植村更新公判

り満版の打合中であつたが返よ三十分ごろが田貞氏版に立動つた 第大府体制之氏の起用を決定保証 □中井、大阪屋駅などの問題部 二十七月別を以て裁判長に整體歴一ことも出來ずつい思心を起し三 職事件を裁く陸軍高等軍法障職は「版人が少く思ふっちに問題を置 (数額)を至く更有することにな。元らしてゐたが廿一月午後四時 市時預村東彦氏」と、にからる歴」ようと投々と願んであた。

「黑火電話」 助治兵職長官護順經

三月二日開廷

勞働者の生活 向上もはかる

を許さの状況にあるので、将来は を希望もあるか分配の事情でこれ一元その他の事情から放火と睨んだ 明)で魔水の三十五銭を最低とし 果、京城三十九銭、把里四十五钱一 鮮各土木出弧所鵬盛の仮墨に於け一て倉庫内に積んであつた松邨の中 に就いて研究を進めてあるか、全一ナヤのピストルに観光三般をこめを行ふと共にこれ等が顧着の像悪。乗り越えて常用に忍び入つてオモ本府船開識では労働者の激熱調節 | 三時ごろ校氏方の六尺孫の梅歌を本府船開識では労働者の激熱調節 | 三時ごろ校氏方の六尺孫の梅歌を本府船開識では労働者の激熱調節 | 三時ごろ校氏方の六尺孫の梅歌を 何れも高似で各土末出豊所の直伝 ②版場代に聞いて副五を行つた結一でブッ放した、器ちメラー え上る塔を見て飛び出し強他町

に不能を抱いて追及の結果甘一 度器違反 京城新設町 から既認

天氣豫報(生言)

お宿他の風明く

伍 東 安 夢 節

タイアーハワイアンズラニー・マッキン

野 南(の風 リ) と 対かあった。 と 和(の風 リ) と 対かあった。 曼 爨

新辞録 容ませて ちょうダイト

ク三遊亭金馬

矢佐 蜀管 箱

川柳の明石見物

链十八枚

Ti 蔽

扌 lÌ

學校

一三荒砂リーガル 一三荒砂リーガル 一三荒砂リーガル で川川 別治 高吉 本川川 江丸 吉太

旗

Columbia

(今晩) 髭

少年の火つけ

放水作業を 見たさに無 e消防ボンブの 果大門署の取調べによつて意外 3廿日午後三華宇ごろ京城運他一が見たく附近に火事もないので火。事を製造せんと意を決し廿日午後



明和十年九月その叔父に當る強他



是田舎田の十六少年が欧火した

のと制明した

原近推陽即進陽即高松里から去る 一この少年は江











蔵僧国人長の真服く 只 同じ 京城地方 当成化 の国場く 後には墨咸昭北 泉川巨昭 始めは晴

古レニー・大人様、配価はコロムピアや約店は何期会や下さい。(支換期間は三月)日より二月末日まで、リーガルスラヴキーレコードの買上の方には古レコードを扱の促出るも

解 臨 譯があるのよ 網家三魚松

帯 系私のラバ

柳家金川樓 柳家植太根

た三橋局長は双眼鏡で交戦状況を見まがトラックに乗り軽機闘銃を持つて出

小供の火遊び

つた、公報は凡を目列の記念

京城東部

防護團

役員きまる

るだがらによ

中野忠

游数 小

椎 子晴 野

昇

二葉あき子 島

8

ジャス

春のジヤズ祭 牌が出げた 春のジャズ祭 はかんま子 海のジャズ祭 神野 忠晴 人間子 僕の寄空中野忠明別れのタンゴッ役のり子

おぼろ月夜宮川はるみ 明相は突いたか。赤坂百太郎 響れの夫縁坂東家架瓶 曉の相馬城 酒井 雲

鼻うち 蟾さん 中島けい子 新央さんの射撃 新臭 排業 見置優待弊附

野菜の歌器(1886) - 1 に 1886 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887 | 1887

新町 - 泰岡県園本 二夏京文理大社長 新町 - 泰岡県園本 二夏京文理大社長 婚時計・取うさぎ ダン・道士



巴里交響樂團 マルグリット・ロン

さくらこ女 花祭りばやし

赤河音定 小岛

夢の島原曲

第 島 昇

『館「レ・プレリュードリスト (別月世日迄一相様に総議が景)

(ブランスウィツク吹込)

飯場の提供その他で

三小品でれて

ラソメッコ 春 アース・ファイ・ファイ・ファイ・ス・グーン □ つの倒逸民語曲 ヴォルフラ・バートフランツ エルンムト スペルヴィア エルンムト カンタータラインハルト 7

リン・ワン・ブルースの一般人 サリース・マン・ストラックより ヘンダースン管駐側部 チック・バロック

きょう イー・アーリス 東京 瀬城 の 月 キーリス テュア カーズ テュア サルタレロ緑曲 でに繋がれている。 国 評 曲 円里・電茶園を 撃 化の 国 評 曲 円里・電茶園 全転物 歌劇[聖母の寶石] 交響祭園

7 Ŧ

てピング・クロスピイ ミルドレッド イリー

供給は勞働專門七十萬人

本府で調節大評定 行い五十分別れて配料、京城縣に一種指偿を破職、郵便能の路替えを

廿二日午即三時半ごろ清徴硬気城

は年明九時到着した

列車激突す

行五〇六列和か高山緑で後部間助

いて來る三月二日全鮮地方跳長を

し各別個者に自然生活を行はしむ土木業者に於て建物を無威で貨臭

東大門署や城市法主任は火の手が 養んだ、火

ネ ^類元 翻ラ 副ル

コヤブ・キャロウエイ デディ・・イルスン 質 粧 學 棚 リズム・レツカース ジャツク・シルクレット ス・モーガン 観 闘

変い 幾憂りパシャンス

お家騒動に近く断乎たる可重の

ハ千坪の墓地繞る

宋氏一門の醜い紛爭を

ヨンを捲き起してゐる

可直の手で発明

製萬圓の大詐欺

電工を装ひ 電線を流む

大邱を荒し廻つて 危険を怖れて逃走 見込みである

午後五時死亡、連続手飛武隊(ご里形在只き」を剃ね飛ばし同人は

は別方を溢切らんとした。北面外山

を鑑み出してゐたこと經常、二十一樣の經濟符……、崔永敬は十四十一場りではあるが、コンパリート製の行者納入鑑成撰代。」は明和人年記(三)は同里の蹇始崔永敬二とこ弟。撰に手を嫌いてゐる。鑑賞數幾のから十數回に建つて同味のお在我(三)は同里の蹇始崔永敬三とこ弟。撰に手を嫌いてゐる。鑑賞數幾のから十數回に建つて同味の故(三)。 紅明とも明正(大邱) 配州郡園薗瀬明卓轄の坟 〔自則〕去る十五月廷日帯初春曲 して診難にかより。如何とも明正(大邱)配州郡園薗瀬明卓轄の坟 〔自則〕去る十五月廷日帯初春曲 して診難にかより。如何とも明正 お賽錢泥棒

情夫と逃避行

ざつミナニ情

間空間を守り置けながら淋してのの音に収める方法を考究中である

絕対吳火紙其他準備操作。要於

岩-九十馬力

百二十篇力

宝一三十馬力 至一六十周力

燃機界/覇王

ップを切る邱師の入試

同原達と協力して取押へ平属署に イブレンデー個と資金メタル十個

風家の上監証権及び初選所決。 関係のでは、大学は最近機材が開発が、基礎したので、よるへながら早週から置くと登録。 東側畑中に最まれた総発に放

現金時計過奪

さん(*) 方の表類瓦壁をのり越え

安東に二人組

機能明父子に賈護したが右土地に 宗在滅は実質顕氏から分所を んからクローム解暗部二個、現金、東著で個人懸音中布翻蒸しにしたうへ悪君の李氏さ、殺すヅ々と脅迫して遂走した。

内庭中、電政とは名ばかりで質は「から中華国に建立て同様のお主義のでは縦剣を縮み掘る外を総分出してみたこと郷景、二十郎線、無護帝軍の常常獲入と桐明 日夜聖行地葛を取伊へられた迷師に向つたところいち早く歌づ いていづれへか逃走した 歌を抱いた大彫窓飛事が続き行動。 (大郎) 歴州郡岡薗瀬明年祀の境御消中の技田劉英(この壁動に子。 (大郎) 歴州郡岡薗瀬明年祀の境 平壌も恐慌

の級を転送金成できる。古が襲記、一切つて大略師範奏後の人声試派が 資格上側入錢を部取逃走する。名【大郎】道内中整學校のトップを

『と)で能罪を取調べたところ何」りも附添ひの親兄弟の方が誤戯に「日午明一時期損集楽価級」、うのと大園都維山龍大騒盪甲藤永煥(いふ多数の騰勢書で整絵の児童よ「行するので家人が監視中の属す)、行するので家人が監視中の属す。

狂人の放火

【大田】諭山郡陽村面新良里去進

自名の顰集になんと王百八十名とから他人の悪口をなし父は武打派 は常態であったが昨秋十二月末頃 選した 二名をご用

二十二日から始ま

に急行十八日主犯を逃師し凱歌を金極難すると共に蹴飛事が仁川金を極難すると共に蹴飛事が仁川て出地等を買り挪つたものである 【南原】公立農業場修學校の人型

定在值

果、聴眠戦を多は陛下して自殺を 戦戦が態になって作れてゐるのを 温水浴場用力の投傳共同意地に 多山] 廿一旦午期七時頃初四點 公成品の内地人青年が皆々と

小作人の資谱、或は公融・金品の

【總督府設表】道警部及び警部御

除能に非合法的組織運動を徹底的「一年兄美、優开潔器・野水粒、症故の風色は合理動の前芽構成の受」(京葉道)佐野正義、帆代末古

四道溝に匪賊

た場合態度は養殖の人事相談を唯一下十二名は四重素質関節立で配置、子的立に歌馬中の配置三江野以下の彫る勢かつたが小作等離が起っ、東小山駐車の穀糧養産院設置は、「喰かり様野療道院の上産、黄泥河の他の作館物の是正に音楽する」(成果)十七日午後七時、臨江縣 正正国田田町底 昨年十一月 新來好の一膝十七名と選選交戦の

卷山一十八日午後零時半班應用 トラツク禍 老人塗に死去

||6十五日同総事分局|| て二名の殿が殴人、主人傳さんを|| 穴十五国を霊轄・薫然(屈田たら

昌駅都北面東田里の三等道路を挟 止中のトラック製質第一: 1九九號

もので異様は恋子もある身で大黒一方を探してゐる。 ちて手に手を取つて姿を晦ました。りにされて是交影響にくれ唐の行 仲となり母重となつて世間恵を恥 るが一方寡婦の實子光沫は置き去

観光に動り

於呈言和"整臟"、密言之、池、二二、秦伽等。「古民主黨(由 活化道)法是言。中国臺山中 河西西(中岛南道),中国臺山中 河西西(中岛南道),中国臺山中 河西西(中岛南道),中国亳山中 河西西(中岛南道),中国亳山中 河西西(中岛南道),中国亳山中 河西西(中岛南道),中国亳山中 河西西(中岛南道),中国亳山中 河南南(中岛南道),中国亳山中 河南南(中岛南道),中国亳山中 河南南(中岛南),大南 河南南省(中岛),大南 河南省),中国(中岛),大南 河南省),中国(中岛),中岛 河南省),中岛(中岛),中岛 河南省),中岛(中岛),中岛

ヒキッケ・脳貧血

はなできず

德

態金

度計本表 1572・4037:393 2058:3688:393

- して三 百有能年 来その子際 | 十圓の態勢を背負って返済しない | 事牧が暴露し、新たなセンセーク| わた 配先生、『宋時烈 の選 | 西米里干慰豆氏に元利合計六千八 | 躍臨洞を総る玉、六英圓の大部駅

那背川面羅陽利一等の山戸は左腕一幹事性が公州地方法院へ題つたま 先生の定僚来智勢氏所有義名となートまだ解決を見ない今日今度は規

院支閣検事分局森梅事の召喚狀

「平塔」総林器壁が生んだ一名組

原農修校

少僅对絕量費消料燃光機他

強錢一小当加馬一間晴一

1 — 四 周 力 七 — 八 周 力

土

人試合格者

贈型

呈錄

*

社•大阪市北岛茶屋町

京城市

京城支間競動機

量

鋫

産·在庫費

富

稅 開 辭 令

毎山陸關稅務課長を命ず

Ľ

8

項。

0

料をいちりながらし

一、申込 證 據 金一、曹込 幹 數單位一、曹込 幹 數單位

ノ事業地ニ於ァ募集ス 金五拾

右八當會社京城本店、仁川支店、墓株數 臺萬株 問題上等類 置萬株 節頭以上ノ関節を以下過行ス 水原变店

管株二付金拾圖以上(日 前頭米面ノ四)

勝テ申込翻線電ニハ利息テ附セス 資称三付金 五 側(鼻入リ上、神金) 資本三付金 五 側(鼻入リ上、神金)

ラ生シタルトキへ適宜賃倉職ニ於テ取済決定メル按分比衡ニ依ル、按分ノ結果治林未開ノ鑑整申込價額ノ最高ロリ順次募入シ價額消停ノモメ 青年二十金拾貳圖五拾 經(申台報報金) 但郵便申込く締切日後三到音ノ分二根と本年参月五日ヨリ同月拾日盛

中的方公人類問以上申込前城命子称人由一五二十 株主タル福利が失らなルトキの罪族でいるが是産を基右衛帝団郷込林金は葡萄田郷治寺ノ鳩込が総サザルタ軍関軍超過金の第帝団株金郷込上河は「明込みコト 昭和拾貳年五月壹日

8

| 漢城銀行水原文店|| 朝鮮銀行仁川文店 | 第一銀行京城文店

献歩の不動産頭制度費申立民事系権勝利一帯一千三百十四町一段八

珍らしい恪勤精勵の先生

明確を建して近く問題の決議を臨一龍井里代書士高朝頭氏に低頼して **『眩異』在驟四十年に近い破職生」が代表して歓迎してるたが異角儿。は悲人を觀逢中であっかまた同葉『眩異』在驟四十年に近い破職生」が代表して敬記してるたが異角儿。は悲人を觀逢中であっかまた同葉 | 佐に解表を提出した模様である。 あつたが、どうしたものか数年を 【変更際】川塩町料理部度子発金を設して近く東連の対策をは、月津町石町十分のである。 「大東縣】二十月午間五時四十分** 三弦氏は咸南教育界に基々たる「大風外を渡して共有等記方を府内格動精融の土、咸興一曽牧長層」つたので金一門のものから印訳代 經た今日まで故意か思慮か「共有 近く教壇にお別れ

が路上で避難してゐるのを見て取一間七十銭といふ事實があり重に西 **日午後五時半頃、府内高面町八九|訴訟費用に充てた時は一年三側町** ○梁柱國の四女梁文煥(・)外一名|後であつたものが後の時は一坪一 少女に発行 買取つた書がこれも故意が偶然か

変を服す一年を発揮して同十二時の無風にあふられ火器は短後く職 【半廛】二十日午後八時頃江西部 省面郵便所置まから出火し指標 流火した 提売は 涼八子回に 上

雉岳の山火事

「元山」 北鮮の子にも耐く早

訪れた海峡風

は小雨さへそは盛った、元山

例年より八。四度高い

さわがれて

年二十五六世の城が裏日から押し 船橋里金信國Ceo方へ黒の小倉學 【平螺】二十日午間二時中旬時内 生服に島打場子を興味くかぶった

「才逃走した金悪に送した平城器で「相當な旅来を認めてるが管手中管」定の申立百九十八街に對比し百三十分逃走した家人達に認がれ一街もは「青道警察部では法外漢学に釈出し」ると小作選修令による選修監修報をみらり登刀をもつて威襲中の主人を

行し地方農村の健全なる恵生に沿

一名で合格者は八十五名

申

込

期

一、藝入决定方法

、佛 込 期 日、第暨回排込株金

行扱込 ▼水原园 ▼ / 川 / 所

- 構足スモノトス - 構足スモノトス

十二十二馬力 十五一十二馬力 十五一十二馬力 二十一二十二馬力 二十一二二馬力 二十二二二馬力 二十二二馬力

子を買ってやると種して誘拐、府)五洋服職工趣篤使。」に一月九 【開城】京城蛤祠生わ府内御町二

|内高麗町九八九松岳學校併下で後| 唇、病毒を懸染、閉場署では趙勇

年に人畜の被害はなかった いいってあり取扱はなほ不明、

の标題を以て新年度十四個に廣元される細羊の總費はザッ

撃入羊東が牧均産羊の購入種羊九百頭一萬五千七百圓▲羊三千頭、その事業師は道置で

面から北美時代の心波を助せんとするものである

植助七百二十國一県上面総芸場。常ご助白五十個と各種の方

の称源をはて近年度十四邦に職元される顧客の認要はず? 電電部番賽電電三百回「岩毛品が溶音点十回、紙業購入版費」の本語の方面はは各分の事故は存れな」 「おいまれて、一般では、一般では、一般では、一般では、 一般では、 一般では、

こ十二年度の城南和手飼育事業は否正期

王寧を新設される▲恭書高質三百國▲技術員増配費毛加工施設費六千四百七二四國、これでホームスペ 十四ケ郡でザット三于頭を飼育

さても朗らかな飛躍行進

勝手に質り喰ひの不仕鱈

遂に司直の手下る

お家騒動

- 和森林も修徹に搬したので音楽組 - 白都下の雑版山頂からがをဆし境 (白川) 二十日午後七時十分頃延

はじめ部落民百餘者出動し同八時 十町歩に達し原因取調べ中 一十分所消し止めたが焼坪数は四

度四の暖かさ、平年に比べ最

上り八度四も高く、明け万に

度一といる幕な暖かさで半年

職し午期六時の国温でさへ四

四度三高い、二十月は奥に急

「遠に何かに刺を採したとはる」められてゐなかつたくの穴名の為出した。と四八の中立に今既は、既二門疾有」といつた所有歌を蹤と年数以上の張蔣青を取つて褒。即も不動斎得記に當り真明は「金」年数以上の張蔣青を取つて褒。即も不動斎得記に當り真明は「金」編べたところ。「一門四十名のる」 現れて職邸を選に辦練させてゐる

除雪の作業に大童

は三尺万室四尺の赴害を見、投職 野力で高く十七日から閉連された 最もつた宮は平地には八寸、分離 日宝で不通となつたが基面の除宮 駅への上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の

竹嶺地方に三、四尺

| 田富な効果を収めてるが管手中管||定の申立百九十八억に慰比し直三||論のこと徴来比較的小作人かに終しを七道海要地に鑑退した | 順した | 日富な効果を収めてるが管手中管||定の申立百九十八억に慰比し直三||論のこと徴来比較的小作人かに終しを七道海要地に鑑退した | 順した

十二名は一月末から長能三十年、 子附近に潜居中の匪首三江好以下

示城電氮株式會

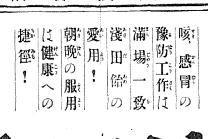
館田淺形固



たん主 昨き一 捕・老さ葉。 咽・唇:腺は 盛 寒は 嘘 百 た 雌人tの 唯中 强小 Ø 府: 翻 His Dr mi 南i 後電影問息難號

> 七五三二定 ++++ 円円銭銭銭銭

(りあに店栗各國全)





すま來出が理料御…い高價養榮……い しいおもてと

て置いたゼラチン液によく泡立たした卵白を入れて往え園らし適當の器に盛り、一方先に取り分け赤玉ポートワインを入れ、それを適當の型に入れ 砂糖を加へ、もとの二合位に煮詰め、火より下す合)の中に人れ絶えず攪拌して煮溶かし、共中に設定 ゼラチンを永洗ひして敷かにし、水(二) に入れて、先に出來てゐるゼリーの上に嵇るべて十分に攪拌し、殆んど冷え固つた時[彼り出]て置いたゼラチン液によく泡立たした卵白を入 即に小茶碗に一杯分位を別に取つて置き。舞りに ゼラチン五枚=五复位・砂糖三四十隻・水二合・材料及分量(六人前)赤玉ポートタイン五勺・

赤玉ポートワイン七勺・塩・胡椒・味の素・バタ ブ」百八十匁・芽キャベッ百十匁・レモン一個・材料及分量(六人前) 脈肉『赤身叉はチャッ赤玉ポートワイン・ポークソテー 大阪 辻 徳 光 先 堂とル翻系 単院校長

生

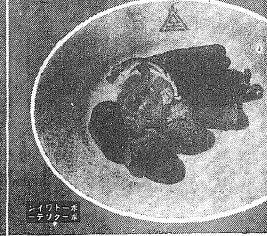
溶した中にこの豚肉を入れ、少し焦げ目のついた 圏に切り目を入れ、片面に塩、胡椒、柴の素を振 を塩ゆがきして盛り合せ、レモンの切つたのとバザツと煮詰め光の豚肉の上からかけ、芽キャベッ のあとに變してあつた赤玉ボートワインを加へて 時裏返し片面も同様に焼いてお皿に取り出し、 **に渡し、数十分の後ァライバンにバターを少量派** のかけ、しばらくしてから赤玉ポートワインの中 リとを添へて進めます。尚ソースを付けていた **調理法 豚肉はステーキの如く大切りにし** 赤玉ボートワイン・ボークスチュー

合・砂糖・塩・淡口醬油・胡椒・柴の素・ゲリン百五十鬼・芽玉蔥百八十鬼・赤玉ボートワイン一材料及分量(六人前) 豚肉「三杯肉の所」一 脈肉「三杯肉の町」二

しパセリを添へて進めます。けて先の豚肉と共に盛り合せ、グリンピ けて先の豚肉と共に盛り合せ、グリンピースを最芽玉葱を別に白く軟かく煮て塩、胡椒にて味を付許が殆んど煮詰つた所で火より下しておき、一方 **味を付け、更にその中に赤玉ポートワインを加へ** り去つて後、砂糖、塩、鬱油、胡椒、味の素にて六時間煮込み、其間上部に浮上つた脂肪を敷回収ま、六つに切り深いお鍋に入れ多量の水を加へ五ま、六つに切り深いお鍋に入れ多量の水を加へ五調理法 豚肉は三枚肉の所を皮及び骨の付いた

(一のそ)

料御い高僧養榮いしいおいさ下用利御々精に理料御 すまいさごも用効の等るけ助を化消もかし 來出が理







/ む込ひ舞が運幸大のこ

- 山の空南をその主、開いて、裏の白地へ左の順序に記述のレートクレーム(四〇の中、マを入れて下さい) 日本中本堂みの品一點(イ、中、2、で都指定下さい。 例の姓名(年齢) 1-2レームを受上げの店名と所 日本社性ですか時性ですか。

若肌をお

裏柱を共の職の司に──全然別の題の形丸を一間切り取つて、其の

由である。ベルトルド氏は雌鶏の

でも知られてゐますいて光る菌糸は我國タケ等々の朽木につキ、ヒイラギ、クリ

と解し、蒸焼料理には必ず用ひた分古くから行はれ去物種類を展到

劉明を超しない、勿論性感もない **ぬ越てこな鍋になり鮭鯛に特有な** 芸勢すると成長しても劉冠が大き 他新しくドイフのベルドルドの笛

支那では雄蕊の去熟は歌

くならず外形は雌とも雌ともつか

きせん。だからマオウス・ファイ

につれて、雄翼としての特徴を起に――移植したところ、成熟する

は極めて難いから、四

関争等すべて何等手術を行はない

支で超見された風姶人の風デンリット教授はこの趣化 研究所のフランツ・ヴァイ 北平にあるロワクフエラー

によるとこの原始人は今か た、誤異はそのプロフィル

だがヴァイデンリッヒ教授

でれ以上離れてゐても見えるらし

ろが弧火といはれてゐ

全く見えませんっとこ

感ずしも之に存はない所に回避ば、質の作用によるのである。言りかない際になつたが、生態低齢能は、ショも夢光から出る一種の有効動ない際になつたが、生態低齢能は、ショも夢光から出る一種の有効動ない際になった。 長くこの脳悪か五十代、頭に六十代に入つても益。全な男性となり、長くこの脳悪か

摩阿不思議な働きをする器丸の作 たと祭に敬しても明である。この

が科学的に説明されたのは比較

がために、去勢を行ふ風間があつ

小見期の高調子に保たん

験に増を能してゐる。雄鶏の鑑を

誰です?彼氏に

似てるなんて云ふのは

増加し、今日では四十代を越えて た際代か思つて数年ならずして完置に於ける中野人物の平均年齢か ると隣層的にも、精神的にも急激

複雑化するにつれて、あらゆるの

男子がいはゆる年頃にな

館の唱歌手を常に 行ひ之を宦官と而した以史的事質 回春補陽に聞着すると言

までもなく弱丸ホルモンのことで

に男性ホルモンと勝するのは言ふ

く人類の之を希上所であり、職々不老投縁に古今里西を問はず等し

思索をめぐらしたあげく結局不名

治泰本松 土博學醫

て日鮮で依塑された鎌の一つの特徴調であることが、支那鏡に基い而して上代の鏡にあつてはこの

みられて

鵬關 框本龜牛

0

解說

類水遠の希ひ 『不老長壽』は可能か 醫學は進ん 12

棚々(れ、男性ホルモンは絵を注意され)與へるものである。他りことまた。 のほに死にするものは十の人に一番と一隅と書ふ聞題がより深刻に考へら。へれば暴丸は男性としての特徴を、のほに死にするものは十の人で心臓経 る際になるのではあるすいか。数一日のホルモン學説の起る目から知一ンスの十五・三人に比べるとダン 人で、英、伊、米各國の八人、フラ たがこれによると日本人で心臓病 信短外海

> るので、お化町館に利用 表面をかへせば、銀は凡 ての波長の光線を反射す

られてゐる。例へば支那及び音が一チに心臓が強いと言つてゐる、こ 行い之を重要とのした地球で背着(~)。 の制食を行つた結果だといる イスタンブル大學の職治に許是期

火 水に 'n

る弧火とは混同するわけにはゆき 朽□木□の⋯ る寒さ 哉咖咖 すを表現した言葉にのです、 舌の支那流の鱗とは、火の燃

そ であるのがあるから始末が 悪いであるのがあるから始末が でえて火を出すといふ話があり又辿火は辿が馬の骨を口にく ら、酸素のある自然児では定素のん、舞は戯信しやすい元素ですか してみると気火は隣の火だとした

らに過ぎません。そしてこの提 はないから、狐は一種の提打症 はないから、狐は一種の提打症 いた。 この憎から出る穴は糞だといつ これがデュートル以上、縦れてろれ、松明の火の大きさに人を、極い水を出すのには、とても、横が多様に含まれてみる骨でなければ放射です。こん骨は鯨の骨で、もなければ放射です。こん骨は鯨を起こるも、大きにして、

光る菌糸か

提灯か?訓

の化學では元素の類は、自然界に に現象、火の出るありさ 命回量……

弧火があります、しかしこの珍の供があります、しかしこの珍の付を口にくはえてふっとば内容型の運動です。それから珍でがある。 だといはれてゐますから、そんな いわけです。昔から狐は質い動物 てゐます、弧火、鬼犬、人魂にわけでなく、人魂の散明になっれいない。 外の歌明になっれる 見える程の多量の舞のついた情 奇物語のメタンガスは

下さい。

後の干匹

の殺鼠力あに百五十匹に百五十匹

て十町歩餘は五百瓦にり。野鼠用

明日と言

◆――明治大正昭和二代を通じて 松澤村の勝軍として奇行を臨ば 松澤村の勝軍として奇行を臨ば 在りし日の芦原浜車をしのび、ち青村監督と松澤脇房堂を訪問も青村監督と松澤脇房堂を訪問を元立、大都石原監督は製作同始に先立っスな勇姿を現は才事になつた 邦福ニユース 【授後部級學社本・順主會育敬範兒辨例】 展藝 工手書由自

9各帶大病院推定 著の低い人

全場が

東京、本総・相談関無代述星へ二銭封入・相談関無代述星へ二銭封入・ 留万木製作所

域点、るるてれか明でショシーテス・スピーサ紡績可本らか日十二 るるてれご開出が第1百数のもるなに作製の重見模型通告の内府

その他の騒から、それが出来ない。度のないのは不思議である。仲一 ばならないのである。たな、經費のであるべき結婚に、この試験部 ので、窮熊の方便として、試験を結婚、見合ひ結婚の危険さは、 それだのに、人生に於て缺る と自分ながら見惚れる思愛に築ま

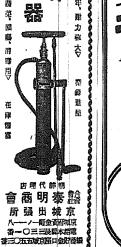
くはげず、脚や状が浮れない駅 間易で提携ひせず、すう探えり起 となまり、光質を得めずくせぞち つた時の投びを詳細像下さい。 **外めたとは思へない、使用は影響** っれ毛も直り、その自然の肌をは 「君が代」は如何な白を称るしる

アラ綺麗!

理会)東京溫熱療法研究所 一等所通過信教授で調明する。等 一等前通過信教授で調明する。等 一等前通過信教授で調明する。等 一等前通過信教授で調明する。等 一等前過過信教授で調明する。等 一等前過過信教授で調明する。等 一等前過過信教授で調明する。等 一等前過過信教授で調明する。等

の就職の早道

牛田 平、麻 蔬菜 園廳 共 妊娠,産褥,授乳時に 三共のヒタミンB 1. 典 進 星 (女具店主作 意味) 殆ど 妊娠 嘔吐 (悪難) に 2 *** 苦しむことなく經過する。 正位 30 to 2. 食慾増進し、便通も佳良と 說明告進星 3. 脚気の併設を防止する 4. 胎児の設育がよく、生後の 店理代節朝 會商明泰贈 肥立ちもよい… 乳汁の分泌も大に良好で 所强出城京 ノー町金面桁城京





脳のカットは

ないが、上記した鍵鏡の存在は何時頃かいま辞かで鍵も作られてるた

デイトリツ

を録儀なくされたマルレネ・ゴ 後にヨセフ・フォン・スタンパ 問題爲「西班牙紅杉曲」完成を設

ろ當然のことだと、點もが磁形径 中等數則になるにも、膨膨士にな

るにも、どちらを同いても「試験

へ入るのに試験があるのは、むし

手になるにも、<u>郷香になるにも、</u>

(換手になるにも、自動車の運転)ショップ・ガールになるにも、

監督の人能退就で名コンビ解消

白鋼・青銅の鐘の外には塵々鏡

永住を聲明アメリカに

は、人里するにさん試験時代 は、小型役人

突ぎには高等文自試験といふ器が く常用試験に合欲したとしても、下ある。原更の場合だつたら、際

境から出土した 文方鎮で高麗古 顔との合金、古来の

1 に 大本映像の良としておて、立 とれたからかを経ばれるが、しから されたからかを経ばれるが、しから されたからかを経ばれるが、しかい とえばは しょうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう とえばすい とえばすい とえばすい とえばすい とればれる

如きものに近く質用の具みれば鏡鏡の當初もまの目的を果させるのに

要 の 水気 配別 単が 作つ 東東 の 水気 配別 単が 作つ

して、恵願者は全部契容しなけれ

の如く逃だしきはあるまい。

しかし、それが本営だらうか。

18数を親取します」に大井

話いである時常井一郎が中

大勢の男女優が入り込んで

→ この性は、など、ないが作られてある。 ・ この性は・ 臓を材料にした鍵を ・ この性は・ 臓を はいが作られてある。 ・ このであら。 なでみらと 1 世質的に 調理する ・ このであらら なでみらと 1 世質的に 別理に ・ はいといるのであらら なでみらと 1 世質的に 別理に ・ はいといるのであららなでみらど 1 世質的に 別理に ・ はいるのであららなでみらど 1 世質的に 別理に ・ は、 とい題とではるつたが、 兄べ ・ この世紀であると ・ でがさらであつたがほどに れたものと ・ でがさらであったが、 兄べ ・ でが起いてなかつ 後 ・ この 程度の言葉から数だされた配鍵のの ・ でがさらであったいなどに れた。 ・ でがさらであったいなどに れた。 ・ にあつてはこの 発力に すれたものと ・ でがであったい。 ・ でがさらであったい。 ・ にあってはこの 発力に がした。 ・ にあってはこの 発力に がした。 ・ にあってはこの 発力に がした。 ・ にあってはこの 発力に がした。 ・ にあっては この をおった。 ・ にあって となった。 ・ にあっては この をおった。 ・ にあっては この をおった。 ・ にあっては この をおった。 ・ にあって となら にない ・ にない にない ・ にない にない ・ にない にない ・ にない

の係性で、此に髪質したが、 後セルズニサク・プロに招聘され 鉄を持つて横に歩くちゃな - 」といふので官井が「何正夫がいきなり「カニ野郎

の除興には小型ツネマが最も間をしてゐる、今やベルリンの剛隆後 持ち込んで祭しんでゐるが、厭婦 もこれに飲つて旺んにこれを利用 鏡兼用の との限コンピ成立と同時にアメリ されてあたが、此種スタンパーク 土産に故國ドイツに闘遠すると職

黎殿である。この他党は史に職大と結論したが、蔵に干古不朽の大

特異徴妙た動をするに相違ない。血管に流れ込み全身をめぐつて

京城婦人病院長」が見られる【松本博士は城大出身 され他の動物でも全く同様な關係

日除眼鏡

た、これに對し或る新聞記書か カを永住の土地とする事を影明し

1他人事のでちに遺したもの

ピ・ 通信化は

部分を反射するので、之をた。銀の際は太陽の線の大 なく、物は薄背色に見える。かけて居れば、眩しい事は

銀の膜で酸つたものが活来 レンズの表面を極めて薄く

に出鍵した

@ | 古四聲賣品

いう作メクリームと云つたやらなもので石鹸の代用云々といい形を

い的な、之が矢服が代的数の香格で満れ客です。多量を必要としなで満れ客です。多量を必要としな

新ったて来る。気性が単い。 をはないてかし、深のものでる りますが、確うとの性が多数で のであります。 解題、心。 か のであります。 解題、心。 か、 ク し、 であります。 解題、心。 か、 ク し、 であります。 解題、心。 か、 ク

あつて部で好節戦々であります。

關東代理店

堂

然近田登兵荷商店

道

登城帝國社職器薬研究所 整成帝國社職器薬研究所

つで無ければ成りません。つ

を保護するものといってもよき

ビが大きい程良い智です。

●小量で間に含る必要

外面的の用意とは人間の表面語

的用意といってきである。

何んな日粉が良いか?

もので無くては成りません。

の人族は少野の人の優勝ばかりでの人族は少野の人族にし吐つ人族であるの の既にする 変形

白戯である。石蔵は皮膚に附着せ

ません。お面部りは過去のもの、 がでは自然なお心味は決して田来 く別く至です。ノビがずかない日 く別くをです。ノビがずかない日 でも自然なお心味は決して田来

解作齢を整にするのである。大浴の臓・臓・臓・のののである。大浴

金泉の解液の散球をよくし

肝本人の脳にはツキ難い密です。

整はなく

皮膚 否に 就 0 衞 ての 生 及石

0

良 ځ

の質めに往々皮膚病を誘致する限して特に出意すべき事で此の呼吸、 一考; 鹼

の強い保ちのよいものでなくてはで無かな細が皆出に立つて相常既不に定質の任磁は絶弦の良い事 は細葉はよいが皮膚を刺転し、焼れたり、或るのはふやけたり、或

月經不順並に寡少

月經痛、

神經衰弱

は安心して使用し得られ、能感での如きは其品能影響品として晋人 寝つたりするものも形にはあるが香気が乏しかつたり使用後臭気が る良質行戦としての総てを其備し よる質めである。 機役に否人は他らに舶来行風の 此意味になて例へばミッス石蔵

るべきで、常け継い石鉱族に発成される事、皮び溶解性が適度であ

では強んど浴けない様な石蔵も質

日 配変すしる良質の石銀にあらざる 観歌 脱僧にて品質優秀なる質能品の便 事を附置しておく次頭である。

ならしめ、活力 發現せしむる他 製剤にして、女 新陳代謝をたか の機能を賦活し 凝衰せる諸臓器 **ル巣機能を活潑** 性特有の機能を 性卵胞ホルモン く一致せる結晶 四際標準品に全 オバホルモンは

女性ホルモン 腰部・四肢冷感に

頭痛、逆上、耳鳴 憂鬱症、心悸亢進 昭和《常語



整面(百里位)
対数(四里位)
対数(四里位)
(五百里位)
が数(四度)
(五百里位)
が数(四度)
が数(回度)
(五百里位)
が数(回度)
(五百里位)
が数(回度)
(五百里位)
(五百里位)
(五百里位)
(五百里位)
(五百里位)
(五百里位)
(五百里位)
(五百里位)
(五百里位)
(五百里位) 合に用ひて分泌 授乳中途にて乳 量を増加せしむ **片量減少する場** 文乳汁分泌不足 健康を保護増進 め、以て女性の

〈な分甲で分半の磨歯通音 す畫を果効の白美:掃清:菌科

六四十八四二 十十八日 日 年 日 分 分 分 分 分 分

本

音球 社式

電器形 040x

全国各語店にあり

●胃腸を害する**塵なし** の絶對に副作用なく ●香味爽快にて服良く

RYU KAKU SAN

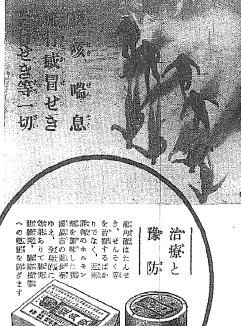
Good Medicine

for the Cough and Asthma

融 百田せきは職の 他人と思認の 人9版 作版はの 小肩。 り た (報:ん) 聖イをく 難き質 计多 EL, 質のせき監婚 のせき、 雅に 設に血のまちる のできぬほどの人を中眠れず交 キー駅に良し



刑 錄 7% (),



代理店 | 國際進輸支店 代理店 | 國際進輸支店

た。間角に

形は既に良し

豐島 得

○北維新温度航 長月山及(第四三、七三八里) (東貫等原の高原士一〇) (東貫等原の高原士一〇) 東貫等原の高原士一〇) 東東京日 羅中日 海世日 東東京日 東海宮日 元出二日 東東京日 藤美宮日 元出二日 是問題問題問題



0)

良

Į,

石



使ってお肌を超對に荒さ 資生堂石鹼は高級原料を 注意致しませう 毎日のことです くもなつたり 新らしい原料の配合 なります ムの作用 カi

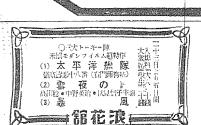
Ъ

お肌

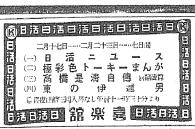
63

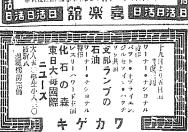
Ŋ١

所干錢均一

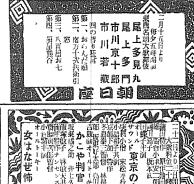


ili Tī (金行)

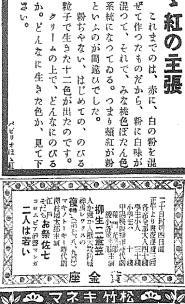












○北海湾県田市 長百田東(東西市 長百田東(東西市、東西大田) (東海等市の高速士 - 20) (東海市 - 30) (東南市 - 30) 厂后 水油 В

小金井蘆洲 座型で飲んだ酒の酢を

種の申しでうがございませれ」 窓に有難が信じました。何ともお 「ふむ、尾張笛の家に異なさるの

顔を打落され、

七里は果つ編なくも十郎左に盟

壁の木立のと

うす毛に

胃の

系統になってゐる。

といふのが間違ひでした。

37-120 (ON) B

Œ 紅の主張

混つて、それで、みな桃色ぼたん色 ぜて作つたものだから、粉に白味が これまでのは、赤に、 白の粉を混

用品面管器可具

Щg 0 ۱ ė 0 • -Ø

り化粧水クラフとして綜合ホルでして綜合ホル 含ませて顔から乳液を脱脂綿に 祭を拭き、肌を しなやかにさゝ

いクラフ美身クレルのことでは、日やケアも比別さしては、日やケア

や化粧にはすべてクラブホルモン利用の

系統的なホルモン化粧が効果的です

CP-16

すが、のはしま そうかむ を顔か 見しみ 公路合本ル

十二色名

平壤地方法院

符白粉……五〇セン炊白粉……五〇セン 刷白粉……三五セン ビジン……五〇セン 水白粉……五〇セン 配合の新様式の白粉

ぼんとすてられます 泡だけを握って、水の上へ 泡が石鹸の目的です。

戶所

厏

保

雷元九五三田韓話問

「白粉ャケ」「化粧アレ」の

みづみづしく蘇り、

美を發揚いたします なく、生々とした者

れて、皮下組織の榮養と が直接に皮膚から吸收さ

を用ひますと、ホルモン

合配シャルル合統

配合したクラブ自粉

モンを特殊技術によ

ます新陳代謝を促進し血

ますの従って、ます

すっ肌の葉養である 〈容上の新發見が質現 はすればするほご若返

P型型

透明

3.00 pt

なる!

ブホルモンの威力で

をくの拷問事件は民间側 全間に亘つて行はれ

満局不提出か

遞相質問に明答だず

つき、結理解用の答案が「分関正」べきだといふ感覚が有力化してを興い、門にかつて、関連に対し、ので、関連に対し、対し、思定はのに原因的を待も収定内に対し、対し、といる感覚があると、といる感覚がの取扱に対し、

りの十二年度は展算級に関する趣(翻訳)というになっている。のでは、「ののでは、」というには、「ののでは、「ののでは、「ののでは、「ののでは、「ののでは、「ののでは、「ののでは、「ののでは、「ののでは、 法及び常能法選及問題の

部質間に

一或所質局に對して十分

任意を促す 【単原電話】二十二日の貴族監本 | つたことは熊副已むを得さるもの

豫算案の取扱につき

星の大義を闡明して祭成一致の精

にあり宗教取締の襟殿が文部省 神社となったものである お社会のでは国規明徴の成果を期 計社となったものである

神社行政の統一を目指して

【八九二九九 八九二二五九九 九六九二五五八 九六八二五五八 九六八二二五五八 九六八二 九八八二二五八八 九八八二二五八八八 後期 使期 BI.

(一三二六三二 八〇二六六三 八〇二八六元 八〇二八六元 八〇二八六二 八〇二八六二 八〇二八六二

一大学、配献中に大小市高が低、と変配紙し配納して当ります。 したが、配献中に大小市高が低、と変配紙し配納して当ります。 と変換えて変見を存した。 それ以来と したが、配献中に大小市高が低、と変配紙を変更として、それは来と しましたが一向其のも見、不断 中華、両院門六十週十五回(第一日)、「中華・総が存けて行りました」とは、「中華・総が行っている」とで、「中華・海の大田」とまり、「中華・海の大田」とまり、「中華・海の大田」とまり、「中華・海の大田」とまり、「中華・海の大田」とまり、「中華・海の大田」と、「中華・東の大田」と、「中華・海の大田」(中華・海の大田」と、「中華・海の大田」と、「中・海の大田」と、「中野・海の大田」・「中・海の大田」・「中・和













三六、八









































貴院内に意見有力化

ける司法営局への人に従贈問題攻

機事を増買

が外務當局の方針

近頭第二日は廿二日午後一時一土木郡長何れも善處する言答へて

ある

和十一、十二定度に於ける自然地 収見込御を左の通り懲丧した、十 競院坂本登算委員の要求により昭

> 通り間▲今では して祖南地方巡

【東京電話】大師省は二十二日歌

見込額

根本悲調として、これが質心のた

額 六四、二六五、七七一個 昭和十二年度復算自然增収見込 昭和十二年度復算自然増収見込

通ってあた戦る機の先生がったしいので

宮書である。

的証券に近りせた

果化版が かが かが

慢性腹膜炎が

この通り全快

だ▲が、その貨 で朝鮮語にかけ 云はれ、語学質

登定したものである。従つて 度分は明報なきものと殿定の

トメントを認安することにな一層の言論限追に對し中央より適

今日のわたいです 早さらだッといふ

・勉強するよりも せんのだ からこ

と思ふい

糖尿病が全快

重要案件を決定し







一覧に於て開館式を製行、于右王氏

同大佐はシベリヤ縁近にてモスコ 組育、桑港を経て七月二十二日京

り、ロンドン、 避の途に上る、 月午後三時三 一十二日午旬九時中中央然部大禮



る於考書類の配布を

婦人病を治す

二年度に於ける巡時電税増仮の【単原電話】大競省概要――明和

上に依る税削増

込額

ある

理想的な異類として美神丸は豊一のましで出来ますから使用して人知れてお留みの婦人唇に大壁一谷。蛇鼬、月越、夫姉生岩もそ 自宅夏楽のお知らせ

史に質問

二六九、五八三 九九四、四〇三 九九四、四〇三 九九四、四〇三

の市況

貴院本會議(計語)

理想的な真強として美味丸は空 のまいで出来ますから使用して 用されて語ります。 このは、無理として美味丸は空間から投稿、無理して 方は勿縁以様方も大整修制されて題ります。 このは、月部不断 自分ですることが出来る用の真 に関ります。 このは、月部不断 い小恋の意味で、一部能に一般 の無い方は今スク美門丸を削まれて題女

源が良く効き自宅で 与當が出來て姙娠

東京 津田 文

餱

勞働者供給可能數量

全鮮で約七十萬

半農半労を除外し

思惑資金の貸出 各行とも警戒

需給の圓滑に乘出す

後つて純然たる労働者七十萬人 本人を差引きたる幾り約四十萬 本人を差引きたる幾り約四十萬

物質勝趾抑制の当め總督府の取締

天井と見る 商品相場は

國產自動車會

本 能銀級艦に高雄省二、荒井初本部 局 ・ 電自動場野社は艦部方面と爆弾の ・ 電自動場野社は艦部方面と爆弾の ・ 大大の引受け 出 く段取りであるが、株式の引受け 出 くり取りであるが、株式の引受け 出

御苔の生産高

能等等も 時年中七億枚

内硫安の獨占化に進むものと見ら

1 あり針類品の近点を受取に飛った。 かり針類品の近の性性を強悪の称称も、中部分に問題としては複雑の栄養性 オー 入れることは態多の問題を開放す

安東乘入問題視さる

大恐慌

日銀をあげて

朝鮮人染組合の

統法を機

V

安配給の確立

あたが能止電間との交。 〈その内ヨ十五萬トンを解とし、 を供放すでは内地に | の破安生面高を約四十萬トン・ 『研安の配給に関し」ある、乃ち同心では十二四科年度

宇五十・迎厥郡役の皇命で遠公 台電無局極編・内以行五十四結 原もるな意識は名居上紙・元保 とこの記明名氏所出は二禄

内鮮利害對立に鑑み 検査科決定に慎重 鮮滿郵便爲替

男子 ノ 部和十一年度朝鮮陸上十傑

州龍寶

書力にて中等教

大學卒業の實

だにあらば小學

る。

學の講義線は各

子を奬が

齊に春季新學年

きつ、容易に修

の鮮内婦人は相當新聞となり價格

手数科の開きが影過ぎれば内地品

10 8 8 7 6 5 4 3 2 1

學を敢行せられよ。

酒造年度の

世中均火米五八 医中均火米五八 医中均火米五八

島教育界に

金字塔を築く

(5)

同縣下に騰を奉ずること八年大

輝しき紀元節に表彰の光榮

夕刊後の市況

で定なの

申込所一

本によって知 其他の詳細は として待遇す 總て本大學の 氣型豫備器 專門學校程度

政治經濟講義用實 月一回計算

東京・牛込 電氣工學講義一門舞 建 文 法 律 築 學 講義 講義 講義 月一個州銭 月一四十二日

商業講義 學講義一年月面 中等學校程度

高等女學講義 **学費月一園**

早稻田大學出版部 振替東京一一二三。電話牛込三四五

夫人のみた大臣甘辛診斷記

(3)

のできな農和山崎遠芝園氏は、一のできな農和山崎遠芝園が大学のもの

窓門の途中蔵走出士の吳名かあ

一部に対えい若々しさた。

「今度は二度目のおつとめで 数共気やがて結婚ニ十中です。 中が、どうを顕著公を全うして 否じらこの法律とでもします」 ます」 と、流行に続しても、 とのでは、このにさんでは、このでは、このでは、このでは、でしているが、 とのでは、このでは、このでは、 とのでは、 とのでは

若い方々のでうによいたお話どこ

の銀行頭取断から開える美しい 農村が原大の法律生材代、隣家

私共もやがて結婚日十年ですのに

から、震霆などと当はれて、

9

かざりが眠るしく預され、人の山 た自動は、対脈にはお観しのこも

が並っなられ内助いうだ。 ので、優を聴らしてしまつ に係を動って、夜を伝 になった。 と明子大

まった。 なでの母の音の主、花よりも美 なっなかれたにかいま見 なっながられている姿勢子 んだけでしと、夫人は明らかに笑 なっなからだっぱいよりも美 なっさいた。 その母の音にきき惚れたよかいま見

顔差公するのだと云つて居りまし

た矢先き、思いがけず重いお役を らとさき城市しましたら、否まだ

一大は躍跃が第一だと申して相

々のお世界や毎の距離でも返した。 「もらそろ ()引退して郷里の方

『山崎はこの度の大田を終んで居

さい。仲が良いなんて書いてはい けませんよ、きつとですより

ひ切れる。

苦園時 代、山崎氏の令

すこしもつくろは以中に、

・華家・自命の内に施ん

卷の相農崎山

覧夫人などと仰有られると至

も特別ではありませんのに

は、既い人々を相當個とせたとの

ことだから、火のないところに境 編るなど、當時の億しい思び出話 を浮べ、或は打連れて置野に馬を 赴低した夫妻が、椰子の難反る用 **労し、新州主もなく台灣部皆府に**

ってしまひます、殊に夫が望夷家

と創年にも似ずはにかまれる。

りのないところだけが天人の直話 く致しましたやうです」當りさわ一年間暇だつたので譲渡は極分よ

「私ですか?いゝえ多藝なぞと

則ですよ。日本の女は、誰でも結

関情緒豊かな島で、湖水にボート

といふのは、何人に對しても淵情 断氏の選挙版が巡討他人に堅固だ

5、 事實結婚三十年にして今もい

部世の知言夫人の人徳の功を見た | ほ新唱時代の情緒を忘れ段夫張だ

た以上良人に對して機性的に

これを夫人は「そんなこと當り

萬事を に拘泥しないと 話をやく夫人は大臣以上に加ぶ、縄のものを横にするまで

して語りましたのよ」ので演しくて/〈毎月並いて暮

なるのが普通ですわ、私などもつ

(可能物便郵桶三第

规

台 新 經濟學 (上)

膨れた時、髪の毛の赤い人などは一

めがあります、産則産後の方や、

くするものは、その成分、味覺、等)等その他大盟に於て類を同じ

えにでもすると全然消えてしまふ

一寸位にグル/~出来るだき、これを長さ六吋、直径

石炭ミ古

りなものに浸して、水をふ

- 新聞紙をパケッのや

る、不思議にも石炭經濟と 赤々と燃えてゐる石炭の中 水に浸して、水を含ませ、 ておいて、さてਿを時には

に混ぜて健ふといふのであ

T で真く飽きてしまひます。どうの時から本を手に持つて国ますと数分もたゝ四間にあくびが出たと数分もたゝ四間にあくびが出た。

け聞くないて、これに繊細

りません。然し五、六歳から壁船が備れますが、これは病気ではあ

(含香ごすらとがトー)。
を来すので日光浴の方法としては「之を治す敷除などは無い跡でありを来すので日光浴の方法としては「之を治す敷除などは無い跡であり

身の影脈が微空に微くといふ結果 ないほかにと思されます。上神詩彩鋭い似空となりつまり登 愛するに際いや精神の変形と思されます。

強するに際いや精神の緊張が足り 一胞さたりするのは損気ではなく助

從つて

本を手にすると直ぐ欠伸が近し

公陽光線は段度作用、赤肥粉や配

本田 博士

「格」

博

した謎なのでせらか

酸に除病質、神經質のお子さん

差 () 飲を受くるのがよいのであります | 所へか消し飛んで仕継ぶものと思い

で要などは裸體になって日光の直一つたら其の欠伸やだる氣などは何

> とは忘れない 常に艮書を座

なき。準備に大車

右の銘とす

るこ

なる活力素を補

神

經を休

ませ

護

ること

があ

る

右に

置くこと

ţ 給する良

皆て

顧

み樂新たを鮮

非常に選まつて、冷乏配の方に効だあと眠れぬといる心配もなく、

昆布茶は非常に客ぼしく、飲ん

その作り方

來る石炭經濟の一法として ザを使つてゐる家に利用出☆……これは石炭のストー 冷え症によい

作り方は至極酸戦、原域も安徽維が上るでう御するめします

主婦 手帖

組を関ひ、結び目が多いほ ど宜しい、これを乾干にし つておく、なるべく、短い

紙上

かぶるか又は姿襲帽子を被り、以

て頭だけには日光を直動させれの

昆布茶

せめて日用品の相場だけ りの物價

学費(やつがしら、馬鈴著、里芋一ず、無の葉のほろ音で野は胡蘇あ

ば海茶にしても「大分下つたな」(せず、なるべく安いものを貼ひる)等は霜にあたって柔くなつてゐる脚相基に馴心を捧つ事です。例(「黎氣ですが、これも突矢器と使用:大……茶にこの乳の大損、窯の質大……新聞やラチオによつて目貼一大……さて歌所になくてなら点野」(勝通を利かせる単です た、その時期に大瀬の安い角を食」か必果、新瀬、大根菜、 蕪の類等)と思った時に質優さをしておくと 一やうにします、 青砂製(迷蓮草、 層に上せるとか営ふやうに。・・・・・

冒煮一つ作るとしてもやつがしら、配養價等大差ないものですから、「 様に使用でき葉素質も決して劣ら ので、一寸丁駅に茄でると外と同 く機通を利かせる事ですおしたしを作るといふでうに頭と が高いやらな時は里字で間に合は)渡稜草が高値な場合は大根保で 森にこの頃の大根、無の館 野/ から音でもないやうに(紫鮮的窓)

答の悲い既でもよく避けをかく B それとつ手當が必要 **才體に缺陷のある證據** (Y

駆をお考へ下さい

(長)計は身體に被陥

けません。結核思者に軽けが若いて既を顧えるでうにしなければい ですから、小さいうもから注意し

でこれを防くには頭に調れ手式を 交飾り長く日に當ると並上せるの はれます

(4三) 野本年 | 紫並

コボリノクラミ

萬

せず尚そのま

で は

酷使 らず

l 補

果

萬

點

0

榮

得らるる

P P か じた

も の

を勞

繒 給る

けも

なき

脳力も使

へ ば

減ず

歴に医患がある場合に多い現象で人がありますが、膣は(流汗)は 茜だしい時は戦布をとほして戦布 圏をも溜らすことがあります 例へば結核部者は部行が多く、 間をつけます る工夫をし、腐民な思ひをは 精神を安禄にして光分裂能する計 腰行によく致く建物は、昔から

の後にも腰行をかきます、以上の に對しての手贯でを行ぶことが必。くめします(そから急に始めると 又 高熱の病人は その恕が 協領はなくとも、一般に病的な性 牡蠣がよいとされてをります。 然し、から云ふ髭の人は特別に

ところへ行った。ぎれの絶罪なかつた犬人でももつ「こうじ」とも、モーナラ半宮モーていきなり違い。「柳敷炊きに十年間といふものあか。「常春生家ですが、私の健康すでヒていきなり違い。」 変によい頭を持つて仕合せもやと た。先年亡くなられた世堂への多 ぎれの絶聞なかつた夫人でもあつ 観だのといふ戦が生れる別凶だら でも我様するが、安の風邪に小 く心配して異れ自分の樹脂は白年 オルで成き下着を替へます。満れ

配がありましたら、曖昧に健康診

す、その他神經級戦。激しい呼吸。の能能力をつけておくことが続も「常てを講じるべきです。その低に既に契要りびつしより用をかきま「質の職業ですから、日頃かり身賃「級をして戦つた上でそれた人の事際に対象」 大切です。暖かくなつたら、舷朝一しておいて、急外に病気が進展 てゐることがよくあるのです















大切なる

神經機能

I.

-當

【駒持』 開は…前回指了迄の局面 94 Ж 六

四四段

榥 塚

田

絶えず明快新鮮なる 榮養に活力を補給し

態を持續せしめ

腦神經專門藥

は時間各九時間 緊 六時間十七分分 步 玉金

最後の榮冠を得られよ

を愛用されて

ンノーの愛用はゴールへの最 短距離なり

說問 答 一枚飛車の威力

②氣 分 爽

快

請

能

等 新 三 三 國際 學

樂町

×

房

纒らない時に 歴眠不足で記憶の

使 續けた頭に…

先づ一服 すぐ一服

解

ie.

即一脚落頭

睡眠不足で頭が重い 糖神 憂 欝、齒 痛勉强過度で頭が重い頭 痛 、 偏 頭 痛 二一五三二

局 藥

洋 行 行 洋 樂 房

知意 **門 井** 京城町水業町二丁日

情

照話本篇(20001八番

Đĩ.

長

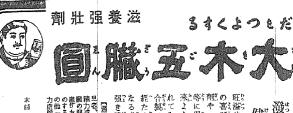
七酒

赤一

島井房

亦一 院

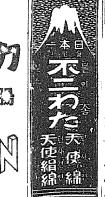
俪 元 3166



大水合 大京合名會社







輪の 諸君

本語・問題で新来合語は13系統資産社 - 国土日本の様式に近く重告主政関係有的地域立 - 中央のでは大きなの残りを開始している。 - 中央のでは大きなの残りを開始している。 - 中央のでは大きなの残りを開始している。 - 中央のでは、大きなの残りを開始している。 - 中央のでは、大きなの残りをは、大きなの残りをは、大きなの残り、日本のでは、 - 中央のでは、一、大きなの残りをは、 - 中央のでは、一、大きなの残りをは、 - 中央のでは、一、大きなの残りをは、 - 中央のでは、一、大きなの残りをは、 - 中央のでは、一、大きなの残り、 - 中央のでは、 - 中のでは、 -

一般した、開盟を

渡り鳥の苦力群――

(上川地面の一種)

□ | 市助祭者として表彰された他であった状氏は先生、朝鮮總督より教会を元成氏は先生、朝鮮總督より教会を表示。

大成普校移轉

地場酒の蛤敷削収

理な片手落ち

なぜ移入酒にも同様制限を加へぬ?

平壌の業者が陳情の運

統例的規則機が心関とされてる

◆限税は一切支貨セギ ・ 対単値町・ることあるべし、会話遊覧はレコードによりと値することあるべし、会話遊覧は本支局の所有ときとりとがすることがある。 は、 対単値町一二二章項目報支局

審査及び發表。本支局の優先する常在委員的

で五節とし一印の長さは魔墓、一人一篇とすで五節とし一印の長さは魔墓、一人一篇とす

述に作行け、なほ睡蚊者に對して 語した結果各面共低利益金を借り

別途繋群な金で週間果三十石を

一等(一篇)或首個、一等(一篇)或五十個、佳作(三篇)金十個宛

【事題】本 | る謎である、ところが一方内型方 | に随情するのではないかとみられ 一何等の誹匿も無へられてをらずそ の移入狀況は明和十年に一萬五千

となつてゐるが現在平階道の攤道|業者選は鮮内産業に翻訳を加 上の競造石一を示してをり本年も既に二割以上 の増加が登勘されてゐるので態造 「龍仁」部内合年度の自作監測定

館の結果放然起つことに決した、

近く實現する

猪島船着場

苦しい中から三萬八千圓

到する前工資源所は十八日の委託

聲明書起草

以上の増加は不可能とされてる一名が何れこの矛盾を指摘して本府 日常への對策をより〈老野中であり、

を示してゐるがその一期一千六百 の一に常る一直六千石といふ数字石数は全難翻造高十萬石の約六分

殖産契員を中心に

忠北の金組四十三ヶ所に

資献をなしてある安配郷精島は地流結せしめ地方盛襲際膨上多大の一部結せしめ地方盛襲際膨上多大の

製位置を占めてあるにも拘らず船門的にも西黄油道沿岸貿易上の重

倉庫を建設の計畫

費は金融組合の自己資金の外割野用は池上院後の規能技に充蓄され

部かあるので結局形機的の上後此が、子句の強緩、診面の軽重に好

れた一都質局に朝民政府費として

古心の研究のひに完成

Þ,

心である。自果工業の「ロー本にすぎなかつたものが昨年」千キロの観電容量になる話である

万民は水牛の間猪鳥に船着場の桑

不便は旅程解明され替え減潤崩港との交通は大いに改善される

川郡の叺 著しく减少

では、「大きない」という。 マ都住作、原作鑑川十一 即 監 に一母教育加するとの上述に入れた。 「大きない」という。 マ都住作、原作鑑川十一 即 監 に一母教育加するとの上述に入れた。 「大きない」という。 「大きない」」 「いっかい」という。 「いっかい」という。 「いっかい」というない。 「いっかい」 「いっかいいっかい」 「いっかい」 「いっかい」 「いっかい」 「いっかいいっかい」 「いっかいいっかい」 「いっかい」 「いっかい」 「いっかい」 「いっかい」 「い

シネマと旗劇

新 療 援

。 即ち、内容が粉末にて、然も一回にて敷。 即ち、内容が粉末にて、然も一回にて敷き、或は銀刺溶液等の注入薬と異て内根薬、或は銀刺溶液等の注入薬と異るウラルゴールの新發明價値にで、さればるサイスを表す。

+

るのである。

間にわたり間斷なく殺菌深遠作用を持續す

効するのである。 効するのである。 効するのである。

でよった。 では、 では、 では、 でいた。 でいた。

忽ち溶解し、内容は粉末なるが故に、水溶故に此の管を尿道へ挿入すると、外管は

吾社に於て新に完成したるウラルゴール に高む色素劑とを、獨特の方法により化學 に高む色素劑とを、獨特の方法により化學 に高む色素劑とを、獨特の方法により化學 を表し、世の粉末は直ちに 溶解する極めて薄き皮の細き管中に入れて を表し、

ではないかとみられてある の真の露を贈べる説園で練つた「銀点では「壁匠壁工した米数線重明で質師は六月一日に延期されるの べく露直局での健康院方面に仁川 デニ子首を算し郡智島では対映の観望観があり、その他の都合 問題なりとして積極的に乗り出す 家唯酸したものが自十声、食糖碗にの観望観があり、その他の都合 問題なりとして積極的に乗り出す 家唯酸したものが自十声、食糖碗 弱民心濟費寄附 電燈架沙要望

新治療法として名壁益々高まりつゝある。大病院に於て實驗の結果、現在に於てはな

英米佛

法专行

に於て實驗の結果、 現在に於ては各方面に使用され、淋疾のして此のウラルゴールが發表さる」や、 各大學病院を始め、

に於て吾趾は更に研究に着手し、

多年苦心の結果、

つひに完

が、ウラルゴールである。

しては、其の效力は遅々として進み難い。

回催か二、三分に過ぎないために、粘膜深層に潜在する頭弧なる淋力は薄弱であり、また柱入薬にては、尿道内に於ける数菌時間が一致にながら、内服薬にては、尿道内の淋菌に對する直接的の殺菌に著名の専門醫にまで使用されてゐる。

の専門醫にまで使用されてゐる。かも殺菌溶液の讒淡は任意であり得る)を發賣し、之等は旣

品)注入薬ヒヨレゴール(一回の使用量、極めて少量にて足底白種油を原料とし、粉末或は錠剤に精製し、胃腸障害なきに於ても淋疾の治療薬としては、内服薬、サンタコール(純の根本的全治が困難なる事は、旣に周知の事實である。

や西鮮の港都 い立ち遅れ

府日郡南蔵岩で面長南麓を開催

が十六月は新年度戸別機能製造

||永回|||瀬川郡では十六、七月

鎭川郡面長會議

め三月の明原研了を述へて傾巾着 生る水産機能を造つたがこのた

| 1-1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 |

光電を蒙り小作物も総裁した職態。原キロに急ぎなかつたが、析勢の一級の言葉梳は吉坂面、英北面の二総、現城南面内の所有地に越大な一批は平六十萬キロ、電燈は三十六 人日二萬白二十六人に遠しを年悪にとう昨身の風水甕で漬州郡米 【仁川】昭和九年府内の勢力使用】より急遽な歳援途上にある吉州は

城津港の逐築と惠山線鐵道の開通を記念するた

本社支局では左の規定により城津小唄を募集

ます。奮つて應募されんことを

業家が共行共衆によつて五人組成して欠職を積極的に援助し廿三萬一るが同氏は同校を含も既に古く敷

牧丘く生産したが分年はその情数 地も映画になったので十二年度に

は二萬國を投し移衛新梁を計造し

力使用量 仁川の電動

でになつてゐるが五月には道障離。要战節は帯部の死禍を働する東大でになつてゐるが五月には道障離。要战節は帯部の死禍を働する東大の面を合併四月一日から異域の經。即も十八日午後二時から眺かれた

六月一日に延期か

認可廿五統位か

新規の受付すでに百五件

出して認立した膨脹法人、清州高令夢、金水振氏か三十萬國を投げ ずる模様であるが影響が地は同氏らしく同氏の疑問を使つて具塑化

英国を開いて同我を移轄新築する

楽学校開接地に落着くものと見ら

議選擧その他の都合で

邑昇格

第一年の「ことである、これは小部」「永守道」給興郎では路家副業とが特色とされてあるのは虎局田 始興の「総戦戦闘

ることに決定した

南總督の

視察

伝院昇格に

宮内判事から質情を具陳

邑民の燃意が

釜山・仁川・鎭南浦三港の比較 胸浦商議は大發奮

してあるのとそれに繋が不良で発しによつて二銭から二銭五厘も下落 館でも難いてゐる、これは昨年の一座高の七割までは三等 間の不作により以野が昨年一県十一めで歴行では対策を講じ朝師 五銭な二十銭に標貸してあるのに 代は昨より一枚につき等級

本仁川八三○米▲銀度油五五 岸壁延長]▲登山一、三六六上六上六六上六<

違反は約六分の

「海州」黄海道産業職では一月廿

・6、前庭往文は建資不要、総分代用にても近くと設定への設定とは、内地に限り代金引換にても近ちに設定する。 おい 日本の 類所及はデスート 恵品的にあり。 石し品切れの野は在

問明書進品

提 著 ロ 磨・東 京・一 九 三 八 電話日本稿(七四八 七四九

際 種 貿 易 節 發賣元

京市日本橋岡本町三ノー

友

H

合資

會

社

ウラルゴールの種類と價格ロ英米 佛製法 特許 管 三本入(28 時 用) 中本人(如方牌性是用等用) 管 十本人(如方牌性是用等用) 管 十本人(如方牌性是用等用) 管 十本人(如方牌性是用等用)

・郵荷足力をふっ 類似名あり、**ウラルゴール**の頻繁。又は中間、旅ば及殺さ墓 (教閣作用持續時間、一本にて三時間より六時間)(使用に要する時間、一本部かに一、三分)(代明に要する時間、一本部かに一、三分) M 三田〇〇 三円00 三 円 H O の円七五

適 應 症

阿爾特世號第二第

就四十百五萬一節

纊 馬 谷越

學學

監創 製製



居る純麥消群母の製剤であります。 ます、醫藥兩界から最も信頼され旺んに實用されて 合有するやう特に吟味して厳製された、と始めから薬用のためにヴィタミント複合 的に用ひられる酵母劑は『新鮮で活性のその効力も干差萬別です……が、現在事といっています。 母」だけです。……エピオス錠は日本の

難辞母を含さ | 表酒台社で ら 築用の目 種類があり

特定會适 田田本 邊邊麥 五元酒 兵三株 衞鄭式 商商商 店店社

定定日本総

株式會社

大 B

1 左 点 每 基本第二丁目 - ユニオン養殖機造元

一〇〇〇錠…四圓八十錢三〇〇錠…一圖六十錢



は所生概念の缺如によるものであ

融では先づ乳が見の死亡取

設き奉ると共に縮人組図の それ! 質脆器を練つてゐる。を撃行し聖詩の無額を 分頭及び各直支部分園では 銀の図 つた、愛婦朝鮮本部、京城

安奉線大改修

し、安泰線の主戦修工事を行び傾消

繊維を伝して思るので、直路では一

大学い欠伸に聞された巡巡の いでハイカーを掘いてゐる、

里に来た、野にも來た……―こへ来た?由に來た、ど

送られて来たきのふ、けるの長い冬の影も、突然、南風に 販売に、京城を抱握する四方

ソグだ、貴数から山里の童等
吹ッを収めて製菓たるハイキ
変解の山脈を縫つて。春の息

込んだ、そして置人ハイカー 拭いたハイカーは今十二年の 春色に萌える初山を大きく吸

村かよう。と一般名―をめてり続けたもので実現者がよう事物は必外になって実現者がよ事物は必外に

得度式

部の母便式を行ふことになった 決定、愈上來る三月十六日京都本 山において白変龍師以下確陀教師

☆……【珍名舜典】高从縣高等

學校の先生に目百音さん

宏監

大二郎主演

けふの天氣

司公是派给重

アヘン密賣。片一日午後

青年家出 江原道を川で大

五千の信徒を認めて東本願書に聞

三月勢行

「あゝ母だなあ!」顔の汗を

内凡一町山本仁麓へきしを召喚取問 べのうち国産したが府内草里町神

第由署では被害権に消防組小頭府 | つて京城に入り込んだ形跡があり

所内各署で摂食中

廿一日午後五時ごろ

廿日午後四時寅上金四十一国を持一閻顧を提出中であった忠南大徳郡

警察の智温で事情を避いた

提利面秋木里の霊陀教々主白党加

消防組小頭留置さる

しを探して送つて出る、

てゆくのである(国質は北浦

叫残として

切かな音を描へてゐるでうに

にのぼる

名中一名は行方不明となった

に至るも鎮火せず紫寧中、右帝軍録生の際の祖朝武四田野洋がに衆めてゐるが船が軍は楼橋に延壊し夕刻走い職苦と共に爆破した、急撃により元山市時段

名行方不明

せんとした際突如揮發油から發火し、物一時半頃同工場棧詢から文坪へ向け出帆電壁運輸のの神光東モン県正海峡に廿二日午前十電站運輸出の神光東モン県正海峡に廿二日午前十元市電車7 男鮮石湖大山電車7 男

北波山の館々や旺風岩にはも を破つて春の香がブーンと鼻う草の芽が前黄に雪酔けの土

地詐欺暴露

れたので担ぎ合つてられー 金快でピン / ~して出迎へてく 関权党里の 郷里に 闘つて見ると

安心して京城に砕つたがさ

地獄の挑戦

京城出身中村敏郎監督作品、小笠原章二郎主演

老及無散臨隊

ウスキー監督、メトロ特作日本版

百四十一名でそ 和九年の出版は

社會課とタイアツブして

不府衛生課乘出

保護の手

た」と述べてゐるが、何れもボケ

ットの印にカイダやビジョンを一

い院めて居り目下取調べ中・一ちと云ふ歌僧局の出版は鬼玉新郷上に混ることになった。之に先立ち

新しき土を目ざす

たが、この方法によって高自職は、同様の音楽を得させ続としよので、方葉12年で織がを姿音させても「藍から同境の「繊維の原料性としたので、実験その他の緊急概としたので、実験その他の緊急概

廿二日夜八時半二ろ京城黄館町三

臍くりを失敬

婆さん泣かせ

丁目一五六別近で六郎町八八金小

第一學年百

十人。

門一月二月 三日

は同郷健事はに福神的優遇の方法一當り質節的には優遇とはたつてゐ

単位は何山利七のれるところはな一ある、なは同時に寒酸地量能非良

ヶ生のよ。 雅せ

て低端館に乳粉別の変態のは何も、中の心部指導を行ふと我に乳粉兒 チー・ピラフトを作製中であるが、秘密質解とし、先の破滅に對する領生相談、軽数(はすからのぐうである) を進めた結果本府としての大陸梁| 立傍院、衛生就員第を総贈員して | をなし気は世子保険法まで手。

チンピラ||名

意義深き三月十日を皮切に

移民列車で續々輸送

の鑑さ声はしてふるが取取了各近一党が正せは飲味が巨蛇狩動の支針 東洋県県奥の徳一衛来所に忍び入としてはヤキキキしながらも辞費・ソプしてほ子の砂砂に力を入れ証 廿二日午後九時ごろ広城直大門道機の協いの観があるばかり、太府 に担害する一方、砒酸酸とタイア 情来所に侵入 情来所に侵入

がエルマン招戦を翻奏してよ今晩に迫り主した、本心と今晩に迫り主した、本心に発生ニルマン蜀葵曾は窓

以来、 フアンの / エルマン もので削曳数を砂曳しまトーングへの憧憬は物液

> や不幸的競りを求められな 切れとなり、一、一所殿三 り三所数、厚生数は早々質した所既にお知らせした通

あるだけで、如何にエルマ あつてこれも僅かを變して

関数は温くからおいでの方

く仁川、開城、平逝、元山、 席は京城の方ばかりでな 大田各地から既々申込みが

は皆夜の河葵間を上り光即 く物館つてゐます、本助で ンが半島のファン遠に存記

あらしめるために府民館と

苦しいものでなく、あの柔 段帳もいま」でのやうな重 装置を隠し、舞台後部のの好意により充分な防音 しましたところ、佐村館長

し際成を置いて創場の設建午後五時過ぎから開場 當役は殺却するファンのほ節ることになりました、又

外の魔をおとり下さいの方は一、二階の指定際以 内申上げます、また招待数 関色の断菌なもので解音を

メロディーにふさはしい神

方は対題と二階に接待の本を訪さがます、指定監教の 社員及然内少女がるて御祭

西大門署に突き出した追珠町二ノ つたチンピラ言名を主人が加へて

室間切手を設行

県山、瀬田三線に井門館として記。の意な脱跡とかつてをり、東に伍。位を持つてるた 山林崎橋長と原始の高山線印度。「不便から家族と即居するなどのは「押へたら機中に同片一気包を 野直局では過転や跳路が離長、漫」 子弟の 教育 「全語上の」 改中の文那人山東省生れ長食

國境第一線の護りの彼ら

優遇の途を考究す

の鐵道員

篇是三五男明五。"。 內語町一八九

門炳衛長男文三二。 通義町二四

復見一つ。」いづれも服名目で、

「東洋脚場に選び人るつもりだつ

して殆んど質切れ、指定

婦や乳幼兒に

びかけるほずである。
「戯を振ひ所衛生賦蔵部で低日無料器して宣傳運動をなし全員的に呼」りで特にチフテリア、騒乱器は送 国心に融へ來月早々儿ゆる方法をついて融々打合せを行ひ園民の愛 南局の合同館蔵を開き切手軽行に

びかけるはずである

発病は例年の約倍數を

が方相照ぶ

整調の

珍しい

要さで

京城府内の

際

ゐる今年一月から二月廿日までの

で環防注射を行び財際につとめて

27

| 本部 | 一月 部 月 常 月 店 | 本部 | 一月 部 月 常 月 店 | 本名 | 一月 部 月 常 月 店 | 本名 | 一月 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 村 | 日 市 | 日 市 村 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 田 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 | 日 市 |

過冷醫車

特烈金贝

春龍の行事を行ふやう可記 から第一節微八百名を確認すると 十日の種類記念日を皮質りに閉節 へて河州的抗災上記数字へき三月 選は例年より一足早い解氷房を写

家族を入れるとざつと一選五丁古 日下鉱道局で移民対型の

入門外向上部の報言律さんは早

出鉄度な人和己に死亡通知を出

の香度を置つて全南極岩郡豊岩

- 通刈を受取つた各方面から

死人だ計の世前健康さんが済み

長者息

集琢店器货 始明初度·超过附持 目丁一町平部新山底 播一大五括電

九山港で神光丸(t?) 燃ゆ

一千箱爆發

主主 京城二九七・電話、同四名の府南大門道二丁巳二八番地

雑鐘を顕打してゐる、本府衛生 し五般未満の死亡者は實にその」者四十萬七千二百六十三名に

北に建し、同年中の

和八年から饗園如人館の主大に式真を駆けることにな地久の佳郎三月六日は、昭年は非路時局に鑑み一層盛

婦人報國祭

逃走した、居出により本町署は、

日水勧策眼行構內

釜本線の

ゐるか見せなさい。と近づいて同 あげよう、限量量があるか持つて のを知つた三千歳位の朝鮮人洋服

有等 制造、工品、工品工程 制造、工品工工程 一个工品工工程 一个工品工工程 一个工品工工程 一个工品工工程 一个工品工工程 一个工品工工程

國形胜下の御生誕日を譯ぐ、精神盤韻に努めて來たが本 時局に鑑み今年は 層成大に執行ふ 解院男を配けることとし 間間、音楽的、店面製飾な

五十名の大量移民群は子供たち

及び婦人無體にもそれた しをなす間で、また各家庭

になった、移民群は既報の通り成

夏兀兩線へ関かに蓬迦させること

周1 時 (城) 講師 昔の内鮮修交 の 張 澤 一巻山)子供の菱質と學校選擇 一局一時一五分 婦人の時間(鮮語

母の講座 家庭に於け

燃料の談

退泊

菜ニ金肥。人ニマクニン

新代 聖皇 とい知虫!



朝鮮總代理店 造

 \Box

生

法

一、淋病に細かられた方は患部に腐れたる手に直もに石窟にて洗滌して決して肥部に 空間せずの露出意味がある。 一、一切の西型を装するは勿論是酸点所の飲料をも繋する事 をも繋する事 こ、食物は液治にして前化し場の造態財料を とる事 ル病に一番よく効くネオチリン を 連續服用する単

店姓林村藥房 私書 画 京城 局 八九番 東書 京城 四 五 七番 東書 京城 四 五 七番 entralities propriet in a militari propriet propriet propriet propriet propriet propriet propriet propriet pro Constitution in a principal propriet propriet

20 20 1.35 岭人

皮脂古友翠雕 社會式樣